



身延清稜小だより

令和4年11月7日
身延町立身延清稜小学校
TEL 0556-42-2520
校長 小林 初音

～実り多き秋！ 様々な行事への充実した取組～

山々の美しい紅葉に深まりゆく秋を感じるこの頃です。秋は実りの季節と言われますが、学校でも様々な行事の中で充実した取組が行われ、子どもたち一人一人の確かな成長を嬉しく感じています。保護者の皆様には、感染症対策や健康管理等、引き続きご協力いただいておりますことに心より感謝申し上げます。

～6年生 修学旅行～

10月12日～14日、町内3校合同の修学旅行が実施されました。「修学旅行中の6年生を見ていると、やはり『実際に見て触って感じる体験学習に勝る物はない!』と思いました。」これは、修学旅行を終えた担任の言葉です。ここ数年、コロナ禍により子どもたちの学習も制限されることがありますが、自分の足で歩き、自分の目で見て学んだことは、子どもたちの心に『一生の宝』として残るのだと思います。鎌倉や国会議事堂等の見学を通して、日本の文化・経済・産業・政治についての学習を深め、また3日間の生活を共にした友達との友情を深め、立派な態度で帰校式に臨んでいた6年生の姿はとてもまぶしく、一段とたくましく見えました。

～修学旅行を終え 6年生一人一人がどんな修学旅行だったのか 一言で振り返りました～

- ・学びを深められた修学旅行
- ・色々なことを学べた修学旅行
- ・みんなで楽しく学べた修学旅行
- ・大切なことが学べた修学旅行
- ・楽しく学べた修学旅行
- ・色々なことを考えて学べた修学旅行
- ・大きな一歩を出して学べた修学旅行
- ・実物を見てもっと学びを拓けられた修学旅行
- ・めあて通りに学習を修め他校の人とも仲よくなれた修学旅行
- ・絆が深まった修学旅行
- ・仲よくなれた修学旅行
- ・他の2校と仲を深められた修学旅行



～卒業証書紙漉き・身延中新校舎使用和紙原材料の制作作業～

令和6年4月より使用が開始される身延中学校新校舎には、身延町を感じられる『木の香ホール』が中央に設計されています。そこには身延山の木材や西嶋和紙等、地域の材料が使用されます。10月31日、和紙の里に町内3校の6年生が集まり、新校舎のすりガラスに使われる和紙の原材料から木くず等を取り除く作業を行いました。自分たちも建設の一部に関わった新校舎！ 完成が楽しみです。



この日、卒業証書の紙漉きも行いました。卒業まで4ヶ月余りとなりました。

～5年生 林間学校～

10月21日、5年生がみのぶ自然の里に林間学校に出かけました。カッターを使って竹とんぼを作りそれを飛ばしたり、斧で薪を割り、その薪で飯ごう炊さんやカレー作りをしたり、大きなテントを張ってそれをたたんだり、小原島に移動して貝の化石を観察したり…と、中身の濃い充実した学習をすることができました。カッターや斧を使った作業や、火を起し調理する等、日常ではあまり経験することのない作業に戸惑いながらも、自分たちで考えながら、友達と声をかけ合い助け合って活動していた姿はとても立派でした。施設の方からも、その5年生の様子を『この施設を利用した中高生も含めてトップクラスでした。』と高く評価していただきました。帰校式の中で子どもから出た『みんな夢中になって活動し…』という言葉がとても印象に残っています。目の前の課題に夢中になって取り組む心地よさや楽しさを身をもって感じる事ができたのだと、大変嬉しく思いました。



～4年生 社会科県内めぐり～

10月11日、4年生は社会科の学習で、信玄堤、かいてらす（地場産業センター）、山梨県防災安全センターに出かけました。信玄堤では甲斐市教育委員会の方にその歴史や川の流れを変える仕組みについて説明をしていただきました。かいてらすは、山梨が全国に誇るジュエリー、ワイン、印伝等、県下の地場産業品を集め展示している施設です。子ども達はきれいなアクセサリや雨畑硯等の匠の技による伝統工芸品に興味津々だったようです。防災安全センターでは震度6弱の体験をしたり煙が充満した部屋から逃げる訓練をしたりして、改めて災害が起きたときの身の守り方を学ぶことができました。4年生も実際にその場所に行き、実物を自分の目で見て体験し、本の上だけでは感じられないことを感じた『深い学び』の様子を嬉しく思いました。

